

多摩消防団だより

第 3 号
発行
平成 20 年 2 月 吉日
多摩消防団広報部
印刷
井上印刷所



平成二十年一月六日(日)
水道局生田浄水場において
恒例の多摩地区消防出初め
式が消防署と共に開催され
ました。

当日は晴天のもと、多摩
区長をはじめ、多くの来賓
者や町会の皆様の参加を頂
き、盛大に行われました。

式典、表彰に続き、今年
も恒例の長尾子供太鼓の勇
ましい太鼓の音が会場に響
き渡って盛り上がり、消防
局カラーガード隊のドリル
演技、地震想定演技が行わ
れ、最後は一斉放水で締め
くくられました。

忘れるな過去の災害得た教訓

輝かしい平成二十年を迎え、一言御挨拶申し上げます。



新年を迎えて
多摩消防署長 山口高広

私は、昨年四月に多摩消防署の第十三代消防署長に就任いたしました。早いもので、まもなく一年を迎えようとしております。消防団の方々や町内・自治会の皆様方と親しく接する機会を多く持たせていただき十年も前から勤務していた気がしております。

多摩区は、登戸地区区画整理事業や駅前開発など都市化が進む一方で、生田緑地等、豊かな自然が残されており、地域の方々が町会活動などに積極的に取り組んでいる地域と肌で感じております。特に消防団につきましては全国的に消防団員の定員割れが問題となつていの中で、多摩消防団は、しっかりと定員が確保されております。これも防火防災にかける地域の皆様方の高い見識によるものであると敬服いたします。

どうかこの防火防災にかける地域の皆様方の心意気をさらに賜り、安心、安全な多摩区の街づくりのため、なお一層のご協力とご支援を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

平成十九年度多摩消防団の活動

四月

消防団用機械器具等性能検査

平成十九年四月二十二日（土）、川崎市消防総合訓練場において、本年も有事に備えるため、小型動力ポンプ及び付属品、消防ホース、ポンプ積載車などの総合点検を実施しました。

辞令交付式

平成十九年四月二十二日（土）、多摩消防署講堂において、辞令交付式が行われ、新入団員二十二名、昇任団員十五名、退団団員二十一名に対し多摩消防団長から辞令が渡されました。



分団長就任にあたり

生田分団分団長 関 喜範

平成元年四月に伝統ある多摩消防団生田分団員となり、今年度から生田分団分団長を任命されました。関喜範です。

日々の中での分団長の役割はとても大変で、事細かな対応や行動が必要とされます。就任してからまだ日が浅いのですが、改めて前任ならびに歴代の分団長には敬意を表します。多摩区民の生命・財産を守り、地域の防災意識の向上、多様な行事への参加・協力など責務の重さとやりがいを持って分団が一致団結し、頑張つてまいります。また、地域の皆様が安心して生活を送れるよ

うに消防団の存在をアピールしていきたいと思えます。

今後も松澤消防団長をはじめとした本団並びに山口消防署長以下署員の皆様からの御指導を頂き活動を進めていきたいと思えます。

仕事をもつての消防団活動は大変ではありますが、団員はもとより先輩の皆様には恥じぬ様、精進してまいります。

六月

救急救命講習



平成十九年六月二日（土）、多摩消防署において救急救命講習が実施され、団員六十五名が参加し、三時間に及ぶ実技演習を行いました。

水防訓練

平成十九年六月二十二日（金）、多摩川河川敷宿河原堰堤において実施された訓練に、区関係局と共に消防団員八十一名が参加し、水害による被害の防止・軽減を図るため、真剣な訓練が行われました。

七月

稲田分団操法大会

平成十九年七月二十二日（日）、川崎市消防総合訓練場において、稲田分団操法大会が行われました。



生田分団団旗祭 生田分団副分団長 松本 勇

生田分団団旗祭が平成十九年七月二十八日（土）に柘形中学校で開催され、各班の小型ポンプ操法を行いました。

今年度は団員交代の年であり、四月に入団したばかりの団員にとっては、大変だったことと思いますが、どの班も協力し合い、立派にやり遂げてくれました。

最後になりましたが、生田町会連合会をはじめ多くの関係者の皆様にご支援をいただき、ありがとうございました。



八月

多摩消防団操法大会優勝にあたり

稲田分団登戸班班長 吉澤久裕

今年の多摩操法大会は、川崎市立南菅中学校が会場になり、消防団員が審査を行うなど、色々と異例づくしの大会になりました。

登戸班は、一ヶ月に渡る厳しい訓練に全員が耐え抜き、訓練通りの操法ができ、二連覇することが出来ました。訓練及び大会にあたり各町会、OBの方々には大変お世話になり、ありがとうございます。

来年も、全員が一致団結して頑張つて行きたいと思っておりますので、ご支援の程よろしくお願ひ致します。



優秀選手賞受賞者

- | | | | |
|-----|------|--------|------|
| 指揮者 | 稲田分団 | 登戸班 | 伊藤正則 |
| 一番員 | 稲田分団 | 中野島班 | 野村 亮 |
| 二番員 | 生田分団 | 中央生田班 | 吉川和位 |
| 三番員 | 稲田分団 | 宿河原・堰班 | 箕輪幸一 |

九月

合同震災対策訓練

平成十九年九月十七日、合同震災対応訓練

が多摩警察署主体で行われ、多摩消防署と共に稲田分団登戸班も参加しました。

当日は多数の警察署員が参加し、消防との連携訓練が効果的に行われ、市民に安心を与えた訓練となりました。

みんなが消防士



例年、消防署が小学生を対象とした防火教育の一環として行っていました。本年より、地域を管轄する消防団も参加指導することになり、児童をはじめ担任の先生方からも大変好評でした。

参加した児童が消防の仕事に興味を持ち将来、郷土愛に燃え地域防災のリーダーとして、また、消防団員として活躍してくれるものと期待しております。

十月

多摩区民祭

平成十九年十月二十日（土）、生田緑地において開催され、生田分団が警備のため参加しました。

十一月

新積載車配備 生田分団 東生田班

消防車が十六年目にして新車になりました。

愛称はまだ無いのですが、街で見かけたら声をかけて下さいね。



十二月

年末火災特別警備

稲田分団 長尾班

毎年十二月になると町内に火災予防の立て看板を設置し、三十一日の年末特別警備では消防車による広報活動及び巡回警備を行いました。

生田分団 中央生田班

年末は管轄区域内の夜警を行いました。

年末・年始の忙しい中、少しの気の緩みが火災となります。皆様方も日頃からの防火・防災に御協力をお願い致します。

消防団に入団して 平成十九年四月新入団員

生田分団

東生田班 横山昌弘

仕事柄、平日は中々活動に参加できませんが、自分なりに頑張って活動を続けていきたいと思えます。地域住民の関係が希薄な今の時代、消防団は地元の人間で構成されており、なんとなく心地良さを感じます。これからもよろしくお願い致します。

中央生田班 岸 和志

生まれ育った地域のためになにか役立てればと思ひ、諸先輩方に指導して頂きながら活動しています。

大作班 原田義治

入団当初は地域の安全を守る責任を担えるか、大変不安を感じておりましたが操法大会や日々の訓練を通じて、先輩方に厳しくも温かいご指導を頂くことができ、今後は早く消防団の一員として活躍し、地域に貢献できるように、先輩方を見習い努力して行きたいと思ひます。

長沢班 関 賢人

消防団に入団して、操法大会に向けての訓練や火災現場への初めての出勤、地域の活動への参加など消防団員としていろいろな経験をすることができました。この経験を役立てられるようこれからも頑張りたいと思ひます。



生田分団



稲田分団

稲田分団

菅班 安藤勝也

右も左もわからずに入団しましたが、月二回の定期点検や操法大会を通じ、諸先輩方のご指導により少しずつ消防団員としての自覚が芽生えて参りました。今後も消防団活動を通じて、地域社会の安心と安全に少しでも役立てばと思っております。

中野島班 吉澤孝太郎

操法をはじめとする技術的な訓練だけでなく、日頃忘れかけていた規律・年功・礼儀などを改めて教わった気がします。地域社会に貢献する誇り、沢山の先輩や仲間達と出会えた喜び、この一年で学んだ多くの事を大切に今後も活動していきたいと思ひます。

登戸班 瀬戸山洋平

戸惑いや不安を抱えながら入団しましたが、良い先輩や地域の方々から恵まれ消防団活動や地域の活動を通じて沢山の事を教えて頂きました。今後も地域の方々との交流を深め、貢献できるように頑張りたいと思ひます。

宿河原・堰班 早坂新吾

消防団の存在は知っていましたが、実際の活動内容は無知に等しい位。基本的な動作や器具の扱いを教えて頂き、実際に放水したり先輩方に過去の経験の話を伺い、消防団の大切さがよくわかりました。まだ未熟ですが、少しでも地域・消防団の力になればと思っております。

長尾班 細田知良

私は消防団に入団して、防災に対する意識が高まりました。また、諸先輩方には今までに経験した事のない多くの事を学び大変勉強になりました。今後もOBの方や先輩方の教えを守り、地域の防災の為に努力していきたいと思ひます。

平成二十年多摩地区消防出初式表彰受賞者 (敬称略)

市長表彰

優秀消防分団	多摩消防団 生田分団	元生田分団班長	高橋輝彦
永年勤続功労消防団員	稲田分団部長	鈴木昌己	成瀬一利
退職消防団員功労賞	元生田分団副分団長	並木教夫	横山公一
多摩消防団長表彰	勤務成績優良消防団員	元稲田分団班長	大谷和宏
生田分団部長	生田分団部長	小島哲也	吉澤光宏
稲田分団班長	稲田分団班長	井田和彦	鈴木敏宏
稲田分団団員	稲田分団団員	元木洋一	鈴木敏宏
稲田分団団員	稲田分団団員	山本哲央	田村 潤
稲田分団団員	稲田分団団員	小山宏之	細埜義文
稲田分団団員	稲田分団団員	吉澤孝太郎	安藤剛史
稲田分団団員	稲田分団団員	小林和彦	星野光雄
稲田分団団員	稲田分団団員	飯嶋利幸	松本匡太
稲田分団団員	稲田分団団員	田中雅之	植村文一
稲田分団団員	稲田分団団員	岸 隆広	関山浩一
稲田分団団員	稲田分団団員	米山恵司	上原伸介
稲田分団団員	稲田分団団員	結城 実	石塚由章
稲田分団副分団長	稲田分団副分団長	並木教夫	久保田政信
稲田分団部長	稲田分団部長	松澤孝治	佐藤和雄
稲田分団班長	稲田分団班長	根本 進	石川政志
退職消防団員	退職消防団員		
多摩防火協会会長表彰	消防功労部隊	多摩消防団より第三号の発行に際し、御協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。	
稲田分団 宿河原・堰班	生田分団 長沢班	多摩消防団広報部一同	